

CALENDAR 10月の行事	
1 月	ストレッチポール教室 10時～・記念スポーツセンター▶P17
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	ふるさとあきたラン 11時～・道の駅おおゆ▶P12
8 月	かづのタートルマラソン 9時～・総合運動公園
9 火	無料総合相談 13時30分～・市役所相談室▶P23
10 水	
11 木	無料弁護士相談 13時30分～・交流センター▶P23
12 金	ココから体操教室 10時～・湯都里▶P17 ゆったりヨガ教室 10時15分～・コモッセ▶P17
13 土	
14 日	2018 全国ジュニアサマーノルディックス キー大会 10月13日～14日 ▶P12
15 月	ちょ筋ストレッチ教室 10時～・福祉プラザ▶P17
16 火	無料相続・登記相談 13時30分～・交流センター▶P23
17 水	
18 木	
19 金	
20 土	
21 日	
22 月	
23 火	浅利ゆみ先生の健康体操教室 13時30分～・まちっこ▶P17
24 水	リズム運動教室 10時～・コモッセ▶P17
25 木	無料弁護士相談 13時30分～・交流センター▶P23
26 金	
27 土	地区文化祭 10月26日～28日▶P4
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	

こでん（使用済小型家電）の 無料回収を行います。

携帯電話などの小型家電（通称：こでん）には、レアメタルなどの有用な金属が含まれていて、貴重なリサイクル資源となります。環境に優しい循環型社会の構築に向け、下記の日程により、こでん回収を行います。

今回は市役所や各市民センターなどに常時設置している回収ボックス（15センチ×25センチ）に入らないサイズの家庭用電化製品も回収しますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

❖日時 10月8日（月）8時～11時

❖回収場所 市役所正面玄関前（古着・古布の回収と同じ場所）

❖回収対象

・使用済小型家電（各家庭で使用したもの）

例：パソコン、据置型ゲーム機、DVD・BDレコーダー、炊飯器、掃除機、電気こたつ、扇風機、蛍光灯器具、電子楽器など※乾電池、充電電池、電球は取り外してください。取り外せない機器は放電してください。

❖回収対象外

・事業所などで使用したもの。

・家電リサイクル法の対象品目（テレビ、エアコン、冷蔵庫／冷凍庫、洗濯機）及び衣類乾燥機。

家庭に眠っている使用済家電が オリンピック・パラリンピック のメダルになる！

2019年3月までに回収される小型家電に含まれるリサイクル資源は、本市も参加している「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を通して2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルの原材料に使用されます。



問 市民共動課 環境生活班 ☎ 30－0224

目指せ！健康寿命県内一

市では、脳血管疾患対策の一つとして、平成26年度から「脳ドック健診助成」を始めています。

脳血管疾患は、発症してからの治療では遅く、**発症を防ぐための予防**が重要です。早期発見・早期治療がとても大切です。

今までに脳ドック健診を受診された方の結果を振り返ってみましょう。

	受診者総数	受診医療機関の内訳		結果指示区分				
		市内	市外	異常なし	基準外だが生活に支障なし	経過観察	治療中	要精密検査
H26	178	140	38	41	89	30	1	17
H27	129	125	4	47	42	22	0	18
H28	128	120	8	36	57	19	0	16
H29	138	137	1	44	67	15	1	11
計	573	522	51	168	255	86	2	62

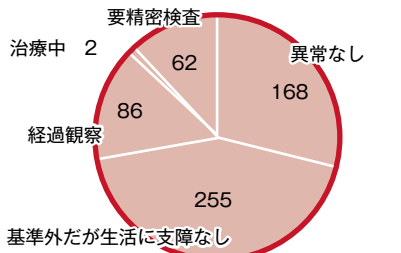
結果指示区分の中で、要精密検査の方が62人おり、受診者の約10％にあたります。脳ドック健診の検査項目である脳MRI・MRA検査などにより、脳梗塞や血管の異常などが発見された方です。

無症候性の脳梗塞は画像診断をしてみないと分かりません。要精密検査の指示を受けた方は、健診の目的である早期発見・早期治療に結びついた方々になります。

脳ドック健診は特殊な検査が必要なため、実施できる市内の病院はかづの厚生病院と鹿角中央病院となります。毎年市民のための健診枠を確保していますので、「自分も受けてみたい」と思われた方は、ぜひ一度受診してみてください。

また、市外の医療機関で脳ドック健診を受診された方にも助成をしていますので、受診前にいきいき健康課までお問い合わせください。

脳ドック結果指示区分内訳



小 深田自治会は花輪地区の中央部、市役所の東側に位置し、JR花輪線が自治会内を通過します。小深田という地名は、近隣の鏡田や乳牛、大曲などを含めた大昔の農耕状況に由来するそうです。当自治会区域内にはスーパーマーケットやホームセンターがあるほか、官公庁や病院などがあり、住みやすい地域だと感じています。自治会の恒例行事として、毎年欠かさず行っている、しめ縄作りがあり、高齢者が指導者となり若い人たちに作り方を伝授しています。また、春と秋に行っている「お日待ち」においては、農作業や地域の安全、五穀豊穡を祈願しています。年々、自治会員や農家数が減少しているなか、伝統行事を活用し、自治会



員の絆を少しでもつないでいき、地域内の団結力が一層強くなればと考えています。当自治会も少子高齢化が進み、自治会役員も体力的に厳しいところもありますが、今まで培ってきた環境・伝統・絆を未来につなげるため、これからも頑張っていきたいと思っています。



小深田自治会 会長

佐藤 猛さん
Takeshi Satou

小深田自治会
30世帯
約80人



～共働きの意識を広げる標語～ 市民が創る わがまち鹿角の 輝く未来